

令和4年10月11日

仁比山小 保健室

4年生～6年生女子の保護者様へ

ほけんだより



一般社団法人 CFT いとしま様より

ナプキンを寄贈していただきました。

昨年度、本校に2つの団体様から、生理用ナプキンの寄贈があり、困ったときに自由に使えるようにと、3階女子トイレの個室に「置きナプキン」としてカゴを設置し、ナプキンを常時置いています。高学年女子には、養護教諭から寄贈された団体様の取り組みと「生理の貧困」について話をしています。また、自分の体を知るといことで「自分で準備しておく」ということも大切だということもあわせて話をしました。

そして、本日4年生～6年生女子に一般社団法人 CFT いとしま様よりナプキンの寄贈をしていただきました。昨年に引き続き2回目です。代表で草野徳子さんが寄贈に来校され、置きナプキンの活動の趣旨と生理についてお話をされました。6年生は修学旅行前の事前指導もかねています。全員にナプキンとナプキンの取り扱い方のパンフを頂いています。保護者の方もぜひご覧ください。

まだまだ小学生では、女性の体に生理が訪れることは知識で知っていても、実際に始まってみたら、よくわからない戸惑うことが多いと思います。

「いきなり始まったらどうしよう」…これは、そろそろ始まるかなと思っている小学女子のドキドキあるあるなのですが、「個室トイレにある！いつも見ているあのカゴのナプキン！」とわかっているのでどれだけ心強いことでしょう。置きナプキンバンザイそしてありがとう…と思うのではないのでしょうか。このことは、初経に限らずです。

子どもが学校で始まった時(初経)は、保健室に知らせに来てくれて、ナプキンを渡しています。ショーツも専用の物に履き替えています。そこで生理とナプキンの取り扱いの話を少しして保健室を後にします。

トイレの置きナプキンが少なくなったり、無くなっていたりすると、知らせに保健室にくる子どもがいます。また、保健室にもらいにくる子どももいます。さまざまですが困ったときに自由につかえるナプキン設置は、女子児童に安心を与えてくれています。

CFT いとしま様は、置きナプキンの取り組みをとおして、性に関する知識や人権など幅広い分野で活動を行っています。今後、本校でも保護者様にその活動のお話を聴く機会が作れればと考えています。

一般社団法人 CFT いとしま様
個室トイレにナプキンを設置することで、ナプキンを誰もが自由に手にとって使える環境・生理や付随する性に関する知識をもっとオープンに、そして身近に学べる環境を作り、子どもたちの心を繋ぐ活動をされている団体様です。

